

平成26年度 決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【産業建設委員会】

No.	施策・事務事業の区分		事 務 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	区分 No.	施策名及び事務事業名		
1	11	支え、育む産業基盤づくり		<p>○方向性と評価は概ね正しいが、次の事項を課題と考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所数や飯田市地方卸売市場の取扱数量が減っている。地場商業者の沈下が懸念される。 ・搬出間伐の面積が減少しており対応策が必要である。 ・施策1-1から1-3は相互に関連しあっており、事務事業レベルの整合性を明確にするとともに、地方創生の視点からあらためて見直し、改善が必要である。 <p>(提言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光政策については、飯田市観光振興ビジョン推進のロードマップを関連団体とともに策定し、進行管理されたい。 ・事業所数や飯田市地方卸売市場の取扱数量が減少しており、地場商業の衰退が懸念されるので、早急な対策を打ち出されたい。
2	25-5	雇用対策事業	や り 改 善 方	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉的側面に重点を置く事業は、別事業とし福祉課の所管とされたい。 ・カウンセリングから職業紹介まで、また就職に関する様々なサービスの提供など、雇用のミスマッチ対策に積極的に取り組まれたい。 ・ジョブカフェいっだは利用効果が見られている。対象年齢を45歳未満まで拡大することを検討されたい。 ・新規高卒者への求職情報の発信など企業とも連携し積極的に進められたい。
3	26-4	耕作放棄地解消事業	や り 改 善 方	<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄未然防止策、耕作地の統合拡大、栽培作物の検討、担い手に農業法人、企業参入を考慮するなど、「耕作放棄地解消」を主目的とした政策の下に事業体系を再構築されたい。 ・前年度に実施された耕作放棄地現地調査の結果を有効活用されたい。 ・地域の課題として取り組む必要が有ることから、まちづくり委員会と情報共有するなど協力しながら進められたい。
4	30-13	産業用地整備事業	現 維 持	<ul style="list-style-type: none"> ・地方創生の視点から、スピード感を持った用地整備に取り組まれたい。
5	31-4	中小企業経営安定支援事業	や り 改 善 方	<ul style="list-style-type: none"> ・産業政策に欠かせない基礎データを得る場として、企業訪問活動を積極的に行い、中小企業の現状、課題に対する情報収集機能を強化されたい。 ・補助制度等の相談日については、最低月2回は取り組まれたい。

平成26年度 決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【産業建設委員会】

No.	施策・事務事業の区分		事 務 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	区分 No.	施策名及び事務事業名		
6	12	未来を見据えた地域産業の魅力、強み、人材の強化		<p>○施策全体として「ある程度進んだ」との評価だが、もう少し厳しいのではないか。本施策は極めて重要なテーマを含んでおり、更なる効果を発揮させるため事務事業の個々の取組の中で、見直し改善の余地がある。</p> <p>(提言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ブランド化の推進を最も重要な産業政策の一つと位置づけ、複数の施策の中で総合的に展開されたい。例えば食文化として「焼肉」を推奨するとすれば、店舗数の多さだけでなく、味とサービス、地場産の肉にこだわるなど焼肉を地域文化にまで高めるような仕掛けをされたい。 ・学輪IIDAの知見と地場産業のコラボを進められたい。 ・この地域の資源として技能労働者の育成に取り組まれたい。
7	25-2	技能技術伝承事業 (旧技能褒賞運営事業)	拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・「技能技術伝承事業」となっているが、実態は「褒賞」が中心となっている。当地域で育まれている技能に関する現状分析を行い、技能褒賞から技能労働者の育成事業にシフトされたい。
8	26-8	農業振興センター事業	やり改善 方	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付事業が大半を占めている。一つひとつの補助事業の事業評価を行われたい。 ・耕作放棄地対策は、農業振興センターにおいて市全体を見据えた包括的な取組みをされたい。 ・農業者全体の育成支援とともに、特に認定農業者を増やすための育成支援に積極的に取り組まれたい。
9	26-10	果樹・野菜等振興事業	やり改善 方	<ul style="list-style-type: none"> ・補助対象の推奨品種が数年来固定されている。ブドウ等への拡大を含め見直しを検討されたい。
10	27-25	飯田の木で家を建てるプロジェクト事業	やり改善 方	<ul style="list-style-type: none"> ・今までにこの事業を活用した工務店や建築主に対してアンケート調査を実施するとともに、その結果に基づき需要が拡大するための工夫・改善をされたい。 ・工夫・改善に当たっては次の点も参考にされたい。 一定面積（例えば150㎡）以上の建物の場合には、飯田産材の使用を率ではなく、一定量以上を補助対象とする。 補助対象となった建築に「認定証」及び「認定プレート」を贈呈し、掲示の協力を依頼し、周知、啓発をはかる。
11	29-2	観光誘客宣伝事業	やり改善 方	<ul style="list-style-type: none"> ・観光内容、目的に沿ったプロモーションになっているか検証するとともに、さらなる民間委託による専門性の発揮を検討されたい。 ・飯田の特性を生かした新たな観光コンテンツを創造されたい。 ・SNSを利用した観光誘客コンテンツづくり、情報発信者の育成、交流の場づくりを進められたい。また、Wi-Fiステーションマップを作成し市のHPなどで確認できるようにされたい。

平成26年度 決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【産業建設委員会】

No.	施策・事務事業の区分		区分 No.	事 務 方 向 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	施策名及び事務事業名				
12	地場産業等振興事業		30-6	現維持	<ul style="list-style-type: none"> 産業支援機関として、費用対事業効果の徹底検証を行われたい。 専門コーディネーター、アドバイザーの確保に努められたい。
13	新しい力による新しい産業づくり		13		<p>○平成26年度の評価結果は、事務事業の評価が「計画どおり取り組めた」施策全体の評価が「進んだ」となっているが、航空宇宙産業クラスター事業は本格稼働には至っていない、他の産業クラスター事業についてはまだこれからといったところ。また、起業家発掘事業は最終的には実績には至らなかった点などから、それほどまでには進んでいないと認識する。</p> <p>(提言)</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業用地の整備に当たっては、募集する事業所のコンセプトの統一や高速交通網が整備されることを見据えた情報産業などの企業の選定に配慮すること。また、環境に配慮した企業の選定も考慮されたい。 工場等の跡地や空き家となった工場などを産業用地として検討すること。 起業の支援に重点的に取り組まれたい。 南信州・飯田産業センターの移転に当たっては、検証作業を行うとともに、機能の充実などよりよいものになるよう検討されたい。 飯田型ツーリズムは、ライバル自治体の増加により厳しい状況にあり、アフターフォローを徹底し、体験者側から見て魅力あるメニューの開発を行われたい。
14	農業法人誘致・設立促進事業		26-23	拡大	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農地活用、耕作放棄地の解消、農地利用集積円滑化、農業担い手誘致、新規就農者支援、そしてこの事業、さらに農業新分野創出・6次化事業、農業振興センター事業は、一連の流れの中の事業展開であって、相互の事業連携が必要となる。「総合的な相談・対応」が必要で、事業全体を組み立て直されたい。 参入法人の発掘のため、直接訪問やヒアリングを強化されたい。
15	農業新分野創出・6次化推進事業		26-28	やり改善方	<ul style="list-style-type: none"> 新しい取り組みであり、当面の間はハード、ソフト両面に対し市の積極支援を行われたい。 人材育成のためのセミナー、参加者のアフターケアをしっかりと行われたい。 当事業の推進に当たっては、農業法人誘致や設立促進を図られたい。
16	広域連携による観光誘客事業		29-22	やり改善方	<ul style="list-style-type: none"> リニア・三遠南信時代を見据え、魅力あるエリアや周回ルートを明確にした事業転換を図られたい。

平成26年度 決算認定に係る施策及び事務事業に対する提言

【産業建設委員会】

No.	施策・事務事業の区分		区分 No.	事の 務方 事業 性	施策及び事務事業に対する議会の提言
	施策名及び事務事業名				
17	地域産品ブランド化事業		30-20	やり 改善 方	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなブランド品発掘のためのプロモーションの仕組みづくりを検討されたい。 ・飯田市産業親善大使が縦横無尽に活躍できるよう、市も積極的に取り組まれたい。
18	交通機関と道路の充実		44		<ul style="list-style-type: none"> ○取組みに対して概ね評価する。 ・道路の維持管理は、財源の経年変化、国の考え方の変化を考慮するとともに、公共施設等総合管理計画の策定に併せて「短中長期の維持補修計画」を早期に策定されたい。その上に立って、必要な財源の確保に努められたい。 ・リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の関連道路整備については、国や県からの交付金を積極的に確保し早期実現に努められたい。 ・公共交通の充実は、「コンパクトな都市づくり」の重要施策であり、市民の利用度が高まるよう努められたい。
19	活気ある街づくりの推進		84		<ul style="list-style-type: none"> ○りんご並木の活性化だけでなく中心市街地全体を対象として、人や物が集まり活気に満ちあふれるような街づくりが必要と考える。個々の課題認識や方向性は概ね正しい。 ・第2期飯田市中心市街地活性化基本計画の中で特に未成熟であった事業については、具体化に向けて検討されたい。 ・中心市街地は、南信州定住自立圏の中心核としての顔と機能を持つため、整備においては民間活力やデザインコンペなど外部有識者からの意見も取り入れ、緑化を進め散策の楽しめる環境文化都市に相応しい街づくりを推進されたい。
評価 対象 数	施策	5	<ul style="list-style-type: none"> ・14事務事業の方向性 「拡大」……………2 ……No. 7 ・14 「やり方改善」…10 ……No. 2 ・3 ・5 ・8 ・9 ・10 ・11 ・15 ・16 ・17 「現状維持」……………2 ……No. 4 ・12 「縮小」……………0 「廃止」……………0 		
	事務事業	14			
	計	19			